

佐渡の貴重な植物群落 9

小佐渡西三川海岸の ハマベンケイソウ群落

伊藤 邦 男

新潟県の第2回の「新潟のすぐれた自然（植物、動物、地形・地質の3分野）（1990－1992年度）」の策定計画に計り、「西三川岩石海岸（すぐれた植物的自然の地域）」、「西三川海岸のハマハコベ群落」、「西三川海岸のハマベンケイソウ群落」、「西三川海岸のウミミドリ群落」（すぐれた貴重植物群落）を調査したが、今回は「小佐渡西三川海岸のハマベンケイソウ群落」について報告する。調査は平成4年（1992）7月30日、調査者は伊藤邦男（新潟県自然環境保全審議会専門調査員）と、中川清太郎（日本自然保護協会自然観察指導員・真野町在住）である。

1. 西三川海岸

西三川海岸は、小佐渡の真野湾沿い、佐渡郡真野町の西三川・田切須・倉谷・大立（おおだつ）・小立（こだつ）・西大須の6集落の全長 7kmの岩礁岩石海岸である。海岸段丘（海拔 25m）が急崖となって海に迫り、段丘下は自然の保たれた岩礁・岩石海岸で北西に面する。自然岩礁と岩石海岸は自然が保たれ、自然地形と自然植生が県内で自然度の最も保たれた海岸である。

段丘の縁はカシワの風衝海岸林、その後側はタブ・シイなどの暖帯林が残存的にみられる。

海岸礫前線はハマヒルガオ、スナビキソウ、ハマニガナ、ハマニンニク、ハマボッスなどの群落で、その後背地にはハマナス、ヒロハヘビノボラス、ハマゴウ、キンギンボクなどの低木林がみられる。特徴的には北方・寒地要素である岩礁間塩湿地植物のウミミドリ（佐渡南限）〔写真3〕、ハマベンケイソウ（佐渡南限的）〔写真1〕ハマハコベ（佐渡南限的）〔写真4〕の自然群落が礫前線に生育し、特異の景観をなす。

これら3群落は「新潟県内の北方系海岸植物（佐渡南限および南限的）の稀産群落」（選定理由）として「新潟のすぐれた自然：植物・群落」に選定（1993）されている。

また、西三川海岸に南方系のハマナタマメの種子が漂着して発芽している（写真2）ことも、大変興味深い。

2. ハマベンケイソウ

ハマベンケイソウ *Mertensia maritima* subsp. *asiatica*（ムラサキ科）は、北方（寒地）系の礫海岸に生える多年草である。茎は倒れて多く分岐し、大きい株をつくり、長いものでは 1m になるものもある。

葉は青白く多肉で、毛がなく平滑、長楕円形－広卵形、長さ 3－7cm、幅 2－5cm、花期は 7－8月。2年生植物



小佐渡西三川海岸の位置



写真1 ハマベンケイソウ（伊藤邦男撮影）



写真2 ハマナタマメ（中川清太郎撮影）
西三川海岸（大立）に漂着発芽（昭和63年9月23日）

で1年目は根生葉のみで花をつけない。2年目に根生葉と茎葉を生じ、茎の先に花をつける。花は2-4cmの長い柄があり、ぶらさがって咲き、青紫色、長さ8-12mm。

本州（日本海側・三陸）・北海道・樺太・千島・アリューシャン・オホーツク沿岸・朝鮮に分布する。和名の浜弁慶草は、海岸にはえて多肉質で、葉の形もベンケイソウに似ることによる。

3. ハマベンケイ線

池上義信は『粟島の植物』（1972）において、シダ植物以上の高等植物595種（615品）のうち、北方系植物として次の9種をあげている。すなわち、ハマベンケイソウ、ハマハコベ、エゾオオバコ、ハマニンニク、エゾノレンリソウ、オオイタドリ、ハマナス、アカネムグラ、エゾオグルマ（粟島：船隠・南限）の9種であるが、これら9種のうち、エゾオグルマを除く8種は佐渡に自生し、これらの植物は粟島だけでなく、佐渡における北方系植物である。

また池上義信（1972）は、北方植物の南限の分布前線として、岩船北部-粟島-佐渡北部-能登北端を結ぶ「ハマベンケイ線」を提唱する。すなわち、これら一連の地域の海岸のフロラは北方色が濃く、北方系植物がこの線に優勢に生育し、あるいは南限をおくが、ハマベンケイソウ、エゾヒナノウスツボ、オオアキノキリンソウ、エゾノコギリソウ（佐渡・南限）、ハマアカザ、ハマハコベ、ウミミドリ（佐渡・南限）、エゾツルキンバイ（佐渡・南限）などが該当する。これらの植物は、佐渡北部海岸を主な生育地とし

ながら、北西の季節風に直面する小佐渡海岸沿いにも分布する。

新潟県内におけるハマベンケイソウの分布は、野田光蔵の『越後の植物誌（1）』（1963）によれば、「佐渡（宿根木、藻浦、入川）、粟島」である。北見秀夫の『佐渡島の植物』（1950）によれば「高千村北河内、内海府藻浦、小木町宿根木」である。また同書に「ハマベンケイソウについてエゾノコギリソウと同様北方系のもので、しかも海岸砂礫上に自生し、海岸植物中の優占である。秋田県の海岸から飛島を南下しており、大佐渡海岸にも小佐渡海岸にもあります」と報告している。

4. 佐渡西三川海岸のハマベンケイソウ群落

現在（1992）、ハマベンケイソウは大佐渡北部の藻浦～二つ亀間の礫海岸にもみられるが、群生地は、小佐渡の西三川海岸である。真野湾沿いの西三川（西三川川の左岸）より西大須（三貫目沢の右岸）に至る7Kmの岩石海岸である。

佐渡島の海岸線上218Kmのなかで、最も海岸地形と海岸植生の自然が保たれた海岸で、そのうち田切須崎と智光坊鼻の間の3Kmの礫海岸はハマベンケイソウ、ハマハコベ、ウミミドリなどの北方系海岸植物の群生地である。ハマベンケイソウの最大群落は田切須の入道岩の北側の礫海岸で、幅6m、長さ200mのハマベンケイソウ帯がみられる。礫海岸に点在するハマベンケイソウはおよそ400株、礫上にマント状に生育するハマベンケイソウの個体株の幅は20cm～80cmである。



写真3 ウミミドリドローイ群落（伊藤邦男撮影）

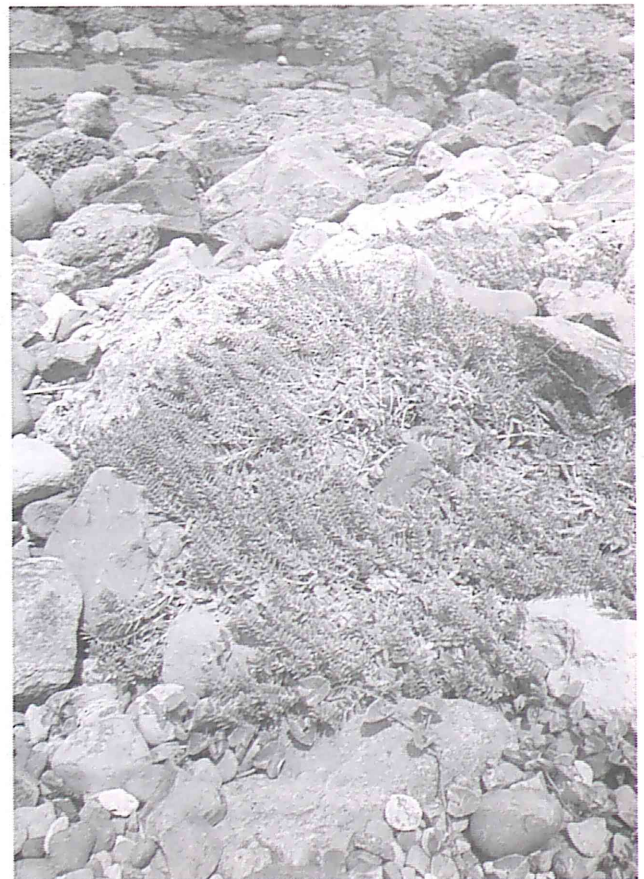


写真4 ハマハコベ群落（伊藤邦男撮影）

植生 西三川(田切須)海岸(入道岩の北側)のハマベンケイソウ群落 <1992 7 30>

群落名	優占種	植被率	高さ	種数	環境
ハマベンケイソウ群落	ハマベンケイソウ	50%	15cm	6	海岸礫前線 汀線より 1.5m 海抜 1.5m 方位 NW 調査面積 2×2m ²
ハマベンケイソウ3・3 ハマエンドウ1・2 ハマヒルガオ1・2 ママコノシリヌグイ1・2 アキメヒシバ+2 ミチヤナギ+					

5. ハマベンケイソウとの出会い

ハマベンケイソウをはじめてみたのは、佐渡の北の海辺である。もう20年にもなるが藻浦から磯伝いに二つ亀まで歩いた時である。絶壁があり巨岩があり、浜は砂礫の磯である。ある岩角をまわると、礫原にいままで見たことがない植物があらわれた。

1株、2株、7~8株と礫原をおおっている。青白いマント状・円盤状の株、それがハマベンケイソウであった。池上義信先生(新潟市・植物研究家)のいう“特異な生態と景観”をもつものであったが、私にとっても“異様な景観、異様な美しさ”をもっていて、「淡い青白色の肉厚の葉をぞっくりそろえて、そこだけが月光がそそいでいるような異様な美しさをたたえていた」[山本敏夫(1986) 越の野の花]。

文 献

- 北見秀夫(1950) 佐渡島の植物:「佐渡の地質と植物」佐渡弥彦国定公園資料集1集
- 野田光蔵(1963) 越後の植物誌(1):新潟大学理学部生物学教室植物分類形態学研究室
- 池上義信(1972) 粟島の植物:新潟県文化財年報第11・新潟県
- 山本敏夫(1986) 越の野の花・粟島・ハマベンケイソウ:新潟日報事業社
- 伊藤邦男(1986) 佐渡草木ノート・北方植物・ハマベンケイソウ・佐渡新報連載(182)
- 伊藤邦男(1987) 佐渡植物誌・佐渡の植物集第4集:佐渡の植物刊行会

いとうくにお

(現住所 〒952-12 新潟県佐渡郡金井町千種106-2)

新潟県中条町地本

ミスバショウ生育状況と植物相

1992

新潟県北蒲原郡中条町教育委員会

目 次

I 中条町地本におけるミスバショウの生育状況と保全	3
今井 卓・石沢 進	
ミスバショウ及び植物群落【写真】(PL-1~PL-8)	4
はじめに	13
調査地	13
調査方法	13
結果及び考察	16
1. 分布状況	16
(1) 総数	16
(2) 群落ごとのシュート数	16
(3) 日照及び水と生育状況	20
(4) ヨシの群度・密度とミスバショウ	21
2. 生育状況	22
3. 播種による増殖	25
4. 生育地の環境保全	25
(1) ヨシ刈り取り調査	26
(2) ハンノキの育成実験	26
5. 生育地の植物群落	28
6. 今後の課題点	29
(1) 公共機関による生育地の確保	29
(2) 水位の調節	29
保全に関するまとめ	30
文献	30
付図 新潟県におけるミスバショウの水平分布図	31
新潟県におけるミスバショウの垂直分布図	32
II 中条町地本のミスバショウ群生地とその周辺における植物相	33
石沢 進	
植物【写真】(PL-9~PL-20)	33
1) 種数	45
2) 分布上で注目すべき植物	45
文献	46
植物目録	49

(お知らせ欄参照)

——各地より届いた初春のおたより——

(平成5年 年賀状より)

黒川の山々も開発で少々緑が少なくなり残念にも思いますが、これも生活の為でしょうか、自然を破壊しないでも人々が憩う所、方法はないのでしょうか。

[黒川=黒川村胎内] (T.E)

魚沼地区は自然のあった痕跡が豊かです。残り少ない分でも記録してみようかなどと考えております。

(十日町在住 A.T)

環境問題で植物がメルクマールになる時代になり、大変です。すね。

(K.S)

置賜の植物・自然を守るため微力ながらがんばっております。

(山形 米沢在住 M.I)